

「ORにおける数理システムの最適化」研究部会活動報告

01104363 富山県立大学 *片山 勁 KATAYAMA Tsuyoshi
01110513 富山県立大学 小林 香 KOBAYASHI Kaori

1 はじめに

「ORにおける数理システムの最適化」研究部会は、片山・小林各々を主査・幹事とし、平成12年4月から活動を続けている。ほぼ2ヶ月に1回研究集会を開催し、平均15名程度の出席者を得ている。地域的な関係で、研究部会参加者は必ずしも多いとは言えないが、外部講演者の協力もあり多方面に渡る分野の報告がされている。

2 活動状況

これまでに開催した研究集会での報告者及びテーマの一覧を以下に示す。

第1回研究会

日時：平成12年5月26日(金)14:30~17:30
場所：高岡短期大学映像利用室(研究棟3階)

- (1) 「地域ボランティアによるインターネットサーバーの運営とセキュリティ管理」
近藤 潔(高岡短期大学産業情報学科)
- (2) 「富山県におけるエネルギー消費と産業構造の産業連関分析」
青木卓志
(金沢大学社会環境科学研究科：富山県庁)

第2回研究会

日時：平成12年7月21日(金)14:30~17:30
会場：KKRホテル金沢

- (1) 「Scheduling with AND/OR Precedence Constraints」
宋少秋(北陸先端科学技術大学院大学)
- (2) 「レベル・クロッシング法による2段直列型待ち行列モデルの解析」
濱本勲(富山県立大学大学院工学研究科),
小林香, 片山勁(富山県立大学)

第3回研究会

日時：平成12年10月21日(土)13:30~17:00
会場：富山県民会館508号室

- (1) 「無限ゲームについて」
寺岡義伸(大阪府立大学総合科学部)
- (2) 「スケジューリング理論の現状と展望」
石井博昭(大阪大学大学院工学研究科)
- (3) 「新しい物事への挑戦
—トロントの一年を振り返って—」
中島信之(富山大学経済学部)

第4/5回研究会

日時：平成13年3月17日(土)~18日(日)
会場：KKRホテル金沢

- (1) 「ベトナム経済の消費関数の推定」
Truong Huy Hoang(金沢大学社会環境科学研究科)
前田 隆(金沢大学経済学部)
- (2) 「オプションの感度分析について」
田畑吉雄(大阪大学大学院経済学研究科)
- (3) 「ネットワーク効果を考慮した
評価方法について」
成瀬喜則(富山商船高専)

第6回研究会

日時：平成13年5月26日(土)13:30~17:00
会場：富山県立大学工学部研究棟(E-422)

- (1) 「多次元ファジィ集合の順序づけ」
桑野 裕昭(金沢学院大学経営情報学部)
- (2) 「多目的計画問題に対する近似最適解」
横山一憲(富山大学経済学部),
白石俊輔(富山大学経済学部)

第7回研究会

日時：平成13年7月20日(金)15:30~17:00

会場：富山県民会館501号室

- (1) 「インターネットにおける
コンテンツ配信技術の最新動向」
中川郁夫(インテック・ウェブ・アンド・
ゲノム・インフォマティクス技術部)

第8回研究会

日時：平成13年10月20日(土)14:30~17:00

会場：金沢大学経済学部5階会議室

- (1) “A Framework for the Development of
Search Heuristics”
Ross James (University of Canterbury),
Yuji Nakagawa (Kansai University)
- (2) 「汚職の経済分析
-エージェント理論の観点から-」
前田 隆(金沢大学経済学部)

第9回研究会

日時：平成13年12月15日(土)15:00~17:00

会場：富山大学経済学部7階中会議室

- (1) “Transboundary pollution and
Non-cooperative tariffs”
垣田直樹(富山大学経済学部)
- (2) 「バケーションモデルを用いた時間制限式
ポーリングシステムの近似解析」
三浦 健太郎(富山県立大学大学院工学研究科)

第10回研究会

日時：平成14年1月7日(月)16:00~17:00

会場：富山国際会議場大手町フォーラム206会議室

- (1) 「待ち行列システムの解析手法としての
レベル・クロッシング法」
小林 香(富山県立大学工学部)

3 まとめ

本研究部会は2000年4月の発足以来、これまでに上記内容の講演会を開催してきた。以下に部会活動のまとめを述べる。

研究会には、主に北陸地区(福井・金沢・富山の3県)における大学・企業・官庁のOR各分野の専門家が参集して行なわれ、講演内容は、上記の通りゲームの理論、数理計画、統計学、経済分析、待ち行列理論など多岐にわたっている。また、講演者については、大学院生を含めて大学関係者が従来通り過半を占めているが、企業・官庁からの事例研究発表も行なわれた。

本研究部会は、北陸地区における唯一の研究会であり、部会活動を通して北陸地区のORの研究交流と学会員相互の親睦を図ることなどにその役割を果たしている。北陸地区の研究者に留まることなく、大学外からの参加、研究発表および特別講演的な内容等も随意企画して研究内容、講演者、参加者の拡大に努めてゆく必要がある。

なお、特記事項として、2002年3月に富山市国際会議場で開催の春季研究発表会および第47回シンポジウムに向けての実行委員会の開催と兼ねて、本研究部会の講演会を同時開催してきたことを附記する。